

寺 報

龍正寺

日なた 207 号

法華經
の力
日延



<令和 7 年 8 月>

宝 龍 会
護 持 会

2025 年施餓鬼大法要



いつか私達もご先祖となります。日々の行いを正し、感謝の供養を行いましょう。

幡をお供えし、お焼香、一軒一軒の塔婆水向供養を行いました。

位 職 一 言

毎日、猛暑ですわ。お身体には充分気を付けて
お過ごし下さい。

手月金に日蓮大聖人御遺文を拝読下さい。

孟蘭盆御書

『悪の中の大悪は我が身にその苦を受けるのみならず、
子と孫と末七代までもかかり候いけるなり。
善の中の大善も又々かくのごとし。』

日蓮尊者が法華經を信じまいらせし大善は
我が身佛に成るのみならず、父母佛になり
給う。上七代下七代、上無量生の父母等、
存外に佛となり給う、乃至子息・夫妻・所従・
檀那・無量の衆生 三惡道をはなれるのみ
ならず、皆初住・妙覺の佛となりぬ。故に法
華經第三に云く「願くはこの功德を以て普
く一切に及びし、我等と衆生と當共に佛
道を成ぜし」

(解説) 悪の中の大悪は自身一人がその悪果を受けるのみ

ではなく、その子へ伝わり、子から孫へと末七代までも苦
を受けるものである。善の中の大善もまたこれ同様である。

目蓮尊者が方便の教えを正直に捨て、大乘一実の法華經を信仰
したその大善は目蓮自身が成佛したのみではなく、彼の本体で
ある父母も佛に成ることが出来たのである。上は七代の祖先、下
は七代の子孫、上は無量生、下は無量生の父母達が思いも
寄らない佛果を得たのである。ただそればかりではなくその子息、夫妻、
所従・無量の衆生が、三悪道をはなれたばかりではなく、皆初位に入り
妙覺の極果に登る佛となったのである。

故に法華經第三の卷には「願ひ所は此の自分の爲した功徳
をば平等に一切の衆生に施し及して我等と衆生、自分と他人
と共に佛道を成ずることである」と言われている

御先祖様の供養をして皆様の幸せになりましょう

合掌

南無妙法蓮華經 (三唱)

～ 亀鏡^{きこう} なければ我が^わ面^{おもて}をみず ～

先月仕事でコミュニケーションが取りやすい同僚と定例会議の担当のペアになりました。二人で研修の下準備や当日の司会・進行等打ち合わせを何度もしなくてはいけないので、本音“困った!”, “やだな〜。”と思いました。実際月末に開催するのですが、ペアの方からの連絡もなく月半ばでも全く準備が出来ていませんでした。このままでは良くないなー! と思っていた時、部屋のカレンダーの7月標語が目に入りました。「亀鏡なければ我が面をみず」
聖語解説「人間関係」を読み驚き、「今の私自身だ!!」まるで心の中を見抜かれている様な思いで読みました。
「人間はお互い関わり合って生活を営む生き物...」孤独感が一番心身によくない。では自分と接する人はみんな自分自身を写してくれる鏡・自分自身のイヤな部分や不得手な部分を写し出してくれる事もある。色々な人と接することは「違う自分」「自分の長所・短所」などの再発見につながります。もしかすると「自分が苦手としているその人は大事な事を教えてくれるのかもしれない。」とありました。

実のところ私は定例会議の担当の仕事 そのものか得意
ではありません。いつもペアを組む方は仕事の出来る方
が良いな~ と思っていました。

この標語を拝読していると、何か仕事への思いが変化
しました。すぐにペアの方へ電話かけて、会議のうちあゆ
めの件を話す事が出来ました。すると、相手の方から、家庭の
事情もあり気になっていたが、後まわしになっていた。そして
謝罪の言葉がありました。相談の上、私の出来る範囲で
前向きに仕事を進める事になりました。少しずつですが、
「仕事がおもしろい!!」と思えてきました。月末には何とか
会議も開催できました。

苦手と思っていた事を克服でき、あらたな自分を見つけ
る事が出来た。私にとって大きな自信になりました。

まさにこの標語の通りでした。

「開目抄」

「自分のあり方も問い、どう生きるべきかの覚悟が記されています。
私達が今をどう生きたらいいか。そのヒントが詰っています。」と書
かれていました。ゆっくりと「開目抄」を拝読したいと思いま
す。

「安心・安心感」

仕事からか、40～50代になって「〇〇さんが(私)いてくれて安心した」と言われる事が多くなった。

経験値というか、貫禄がついてきたというべきか。経験は物を言うではありませんが、緊張の中にも、これは大丈夫、慌てない、じ・じり力は身につけてきました。

たまにはボケたこととしては...。

若い頃は仕事に対して深く考えることもなく、目標もなし、仕事に対する倫理感(は)ほど遠く...

とある経験の中から倫理感というものが芽生えてきました。

そんな回想をしている時に、自分の中の安心・安心感でなんだろうと思いました。

龍正寺のお上人、日蓮宗のお経・お題目に守られていることでの安心・安心感。

何があっても守ってもらえること、起る出来事にも意味があるのだということを感じること、自身の変化を知ることができ、日々の過ごす中での出

来事に対しても 穏やかに 対処できるようになりました。

ご先祖様に対しても 安んじていただくため
日々の お祭などの 供養をしていきたいと思う、

今日の頃です。

< 8月の行事予定 >

8月13日(水) 10:00 ~ 宗祖日蓮大聖人
松葉谷報恩会

18日(月) 10:00 ~ 鬼子母尊神 祈禱会
七面大明神

31日(日) 13:00 ~ 役員会

< 8月住職の予定 >

8月29日(金) 12:30 中部教区修垢師会総会
グランドウエールホール

< 8月の予定 >

8月6日(水)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
12日(火)		
13日(水)	法要後	片付け. 準備
14日(木)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
17日(日)		

お知らせ

10月12日(日) 御会式会に向けて. 奉納内させて
頂くお花作りが始まっています. 参拝の際に1つ
でもお花を添えて頂けると幸いです. よろしくお願ひします!!